

広報

# かわにし

(毎月10日発行)

人口の動き

|            |            |
|------------|------------|
| — 8月1日現在 — |            |
| 男          | 4,328 (－1) |
| 女          | 4,408 (－1) |
| 計          | 8,736 (－2) |
| 世帯数        | 2,222 (－1) |
| ( ) は前月比較  |            |

平成5年 8/10 No.420

〒948-01 新潟県中魚沼郡川西町大字水口沢12番地 (TEL 0257-68-3111)  
(FAX 0257-68-3828)  
発行 町長 南雲春雄 編集 総務課文書広報係 印刷 白南風社



## 町の選手が2クラスで優勝

7月11日、1993年関東モトクロス選手権シリーズ第6戦新潟大会が、川西モトクロス場で開催されました。

この大会には、東京・埼玉・神奈川・千葉など関東圏域から250台ほどが出場。8クラスに分かれて予選・決勝が実施されました。町からも3人がこの大会に出場、3人とも決勝進出を果たしました。

中でも、国際B級に出場した五十嵐義典さん(野口・24歳)は、2クラスでみごと優勝を飾りました。

(円の写真中央が、優勝した五十嵐さん)



休日救急医

8月15日 中条病院(中条) ☎ 57-3018

22日 庭野医院(寿町) ☎ 52-2711

29日 池田医院(本町西) ☎ 52-2581

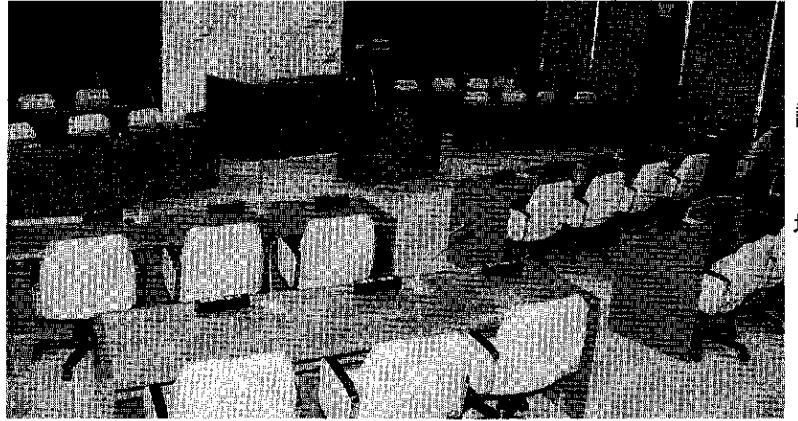
9月5日 クリニック川西(高原田) ☎ 68-2034

12日 大坪医院(四日町) ☎ 57-6100



# 18議席 決まる

議 場



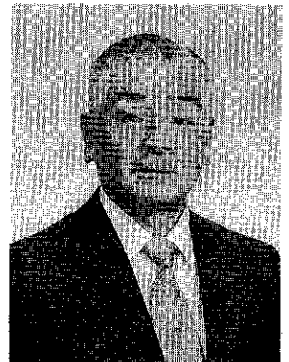
## 町議会議員

### 選挙結果

任期満了による町議会議員の一般選挙は、八月二日に告示され、同日、立候補届けの受け付けが行われました。今回の選挙から定数が十八人となりました。立候補者は、定数を一人オーバーの十九人となり、選挙戦に突入しました。五日間の選挙運動中は、例年に見られる猛暑はなかったものの、活発な街頭演

(届け出順に掲載・敬称略)

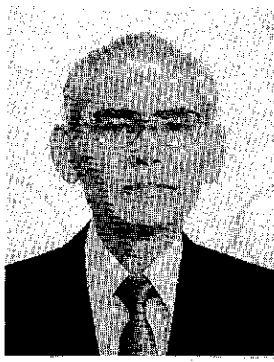
上村晴夫(上野・60歳)



高橋 重(坪山・70歳)



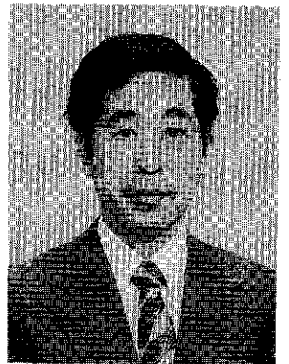
小林寅雄(中屋敷・69歳)



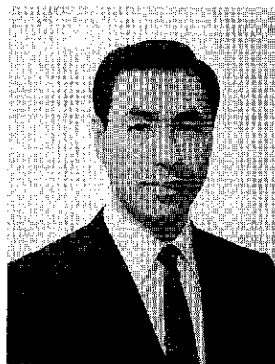
吉楽正実(高原田・50歳)



高橋幸一(赤谷・48歳)



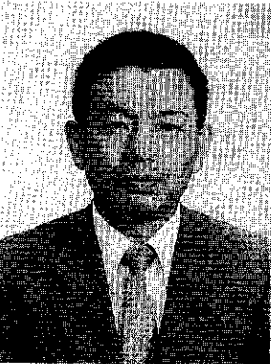
清水 進(朝日町・45歳)



星名富一(沖立・60歳)



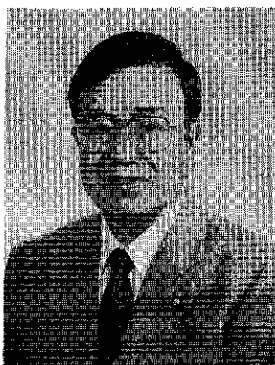
根津健治郎(原田・60歳)



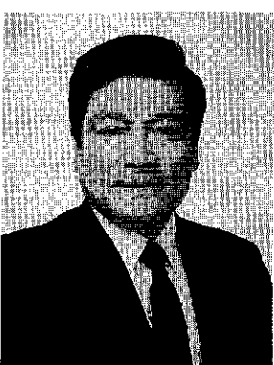
押木 貢(元町・50歳)



金子澄男(岩瀬・56歳)



北村公男(山野田・48歳)



田口直人(木落・47歳)





多くの傍聴人が参観しました



職員による開票作業

★当日の有権者数

男……………三、二五八人  
女……………三、四二四人  
計……………六、六八二人

## 投票の状況

説、有権者への熱烈な呼びかけが展開され、町中に活気がみなぎりました。

投票は、八日の午前七時から午後六時まで、町内十七投票所で行われました。

即日、午後七時二十分から総合センターで開票が行われ、新町議会議員十八人が誕生しました。投票率は九三・六八%でした。

新構成の町議会は、九月一日にスタートします。

今後四年間、皆さんが選んだ代表の活躍にご注目ください。

★投票者数

男……………二、九九九人  
女……………三、二六一人  
計……………六、二六〇人

★投票率

男……………九二・〇五%  
女……………九五・二四%  
計……………九三・六八%

★投票総数のうち

有効投票……………六、二〇七票  
無効投票……………五三票

★候補者別の得票状況は、別表のとおりです。(按分による小数点以下は切り捨てました)

### 立候補者が

### 紳士協定

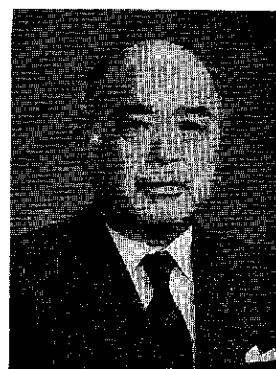
今回の町議会議員の選挙では、立候補者が「昼休み中の街頭での呼びかけを自粛する」紳士協定を結びました。

## 開票の結果

|    |       |        |      |
|----|-------|--------|------|
| 当選 | 戸田哲次  | (無所属現) | 525票 |
| 当選 | 吉楽正実  | (無所属新) | 477票 |
| 当選 | 押木貢   | (無所属現) | 405票 |
| 当選 | 田口直人  | (無所属現) | 396票 |
| 当選 | 北村公男  | (無所属現) | 380票 |
| 当選 | 高橋幸一  | (無所属現) | 345票 |
| 当選 | 羽鳥力夫  | (無所属現) | 345票 |
| 当選 | 南雲教   | (無所属現) | 333票 |
| 当選 | 清水進   | (無所属現) | 321票 |
| 当選 | 富井相四郎 | (無所属現) | 316票 |
| 当選 | 星名富一  | (無所属新) | 310票 |
| 当選 | 金子澄男  | (無所属現) | 307票 |
| 当選 | 根津健治郎 | (無所属現) | 281票 |
| 当選 | 村越勝蔵  | (無所属新) | 281票 |
| 当選 | 高橋重   | (無所属現) | 278票 |
| 当選 | 小林寅雄  | (無所属現) | 278票 |
| 当選 | 上村晴夫  | (無所属新) | 263票 |
| 当選 | 柳藤作   | (無所属現) | 188票 |
| 次点 | 平野正義  | (無所属現) | 177票 |



柳 藤作 (学校町・67歳)



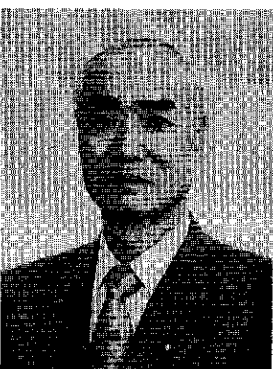
富井相四郎 (上野・67歳)



戸田哲次 (仁田・61歳)



村越勝蔵 (野口・49歳)



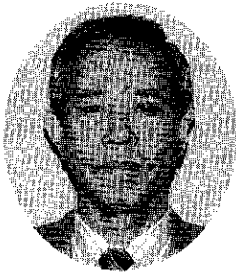
南雲 教 (中仙田・65歳)



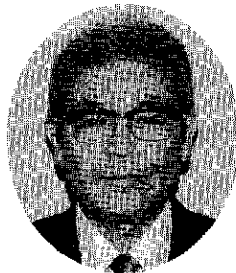
羽鳥力夫 (伊友・57歳)

# 農業委員 21人の かおぶれ

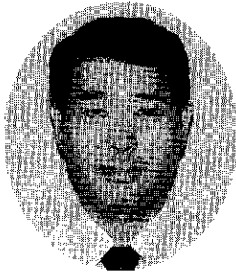
選挙による委員



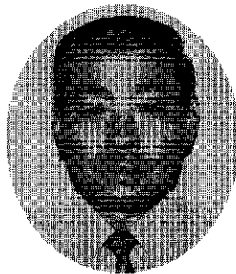
①小幡 満 (57)  
②仁 田  
③仁 田



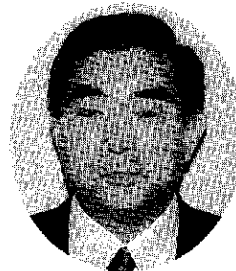
①渡辺一二 (60)  
②東善寺  
③山野田・東善寺



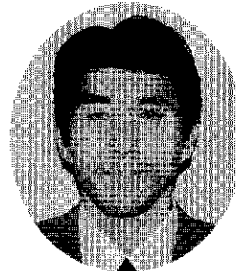
①山家勝一 (38)  
②木 落  
③木 落



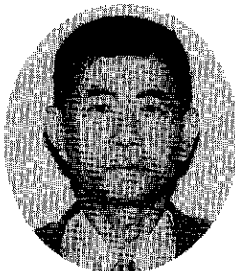
①高橋洋一 (57)  
②上 町  
③沖立・上新井



①上村謙吉 (62)  
②上 野  
③上 野



①若山博良 (43)  
②新町新町  
③新町新田



①丸山和徳 (56)  
②根 深  
③原田・根深・下原

任期満了に伴う町農業委員会委員の一般選挙は、無投票となり、七月十一日の選挙会で次の方がたの当選が決まりました。選挙による委員が十七人、町長選任による委員が四人の計二十一人で構成されています。今回、新人八人が当選しました。任期は、平成五年七月二十日から八年七月十九日までの三カ年です。

七月二十六日に第一回委員会が開かれ、会長に小林正人さん、会長代理に上村健一さんが、それぞれ選任されました。

(議席順に紹介します。敬称略)  
①氏名・年齢②住所③担当地区

〈農業委員の主な仕事〉

- 地域農業と農地の守り手
- 農地の集団化・有効利用と流動化の推進役
- 農業者年金加入および受給手続きのお手伝い役
- 地域農業を守り発展させるための建議・答申―農家の利益代表

## ◎衆議院議員選挙

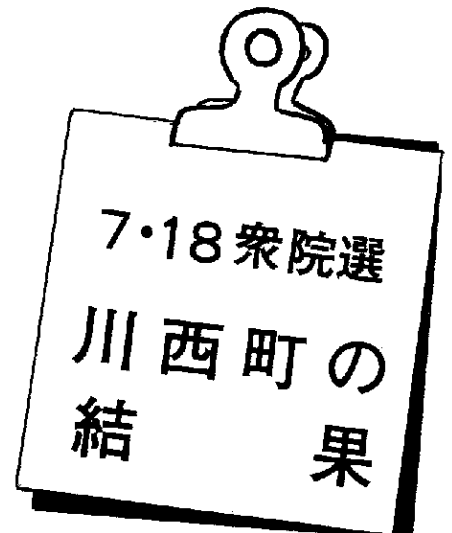
◆投票者数 六、〇七九人  
◆投票率 九〇・二九％  
◆有効投票 六、〇二三票  
◆無効投票 五六票  
◆候補者別得票 (届出順)

宮越 馨 四六〇票  
田中徳光 五三票  
筒井信隆 一、二二五票  
白川勝彦 三、一九二票  
高鳥 修 一、一〇三票

七月十八日に実施された第四十回衆議院議員総選挙は、即日、午後七時二十分から総合センターで行われました。この選挙では最高裁判所裁判官国民審査も併せて実施されました。

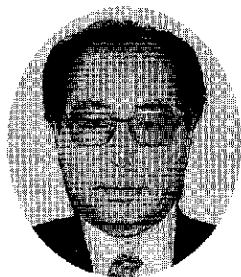
今回の投票率は九〇・二九％で、前回の総選挙(二、二一八執行)より一・一二％下がりました。

町の開票結果は次のとおりです。(国民審査は省略)

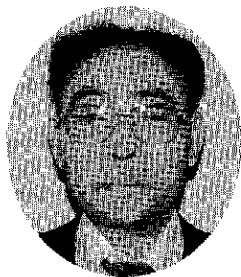


当日の有権者数  
男 3,279人  
女 3,454人  
計 6,733人

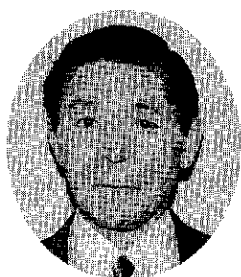




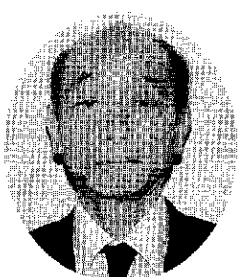
①星名正幸 (47)  
②木 島  
③中屋敷



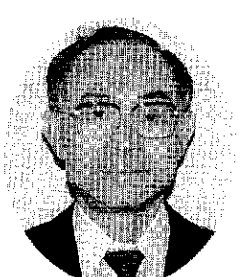
①斎喜春繁 (61)  
②室 島  
③室島・藤沢



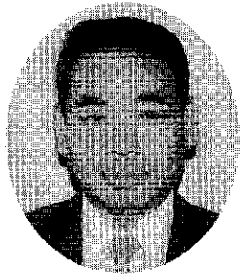
①野沢正夫 (59)  
②野 口  
③野口・四十歩



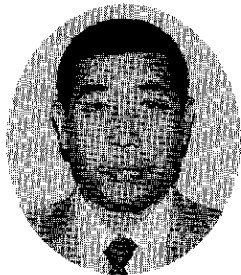
①斎木幸威 (60)  
②小 脇  
③小脇・高倉



①高橋利一 (66)  
②高原田  
③伊勢平治・高原田



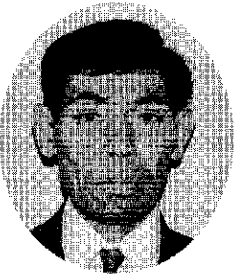
①小川紀栄 (53)  
②岩 瀬  
③赤谷・岩瀬・大倉



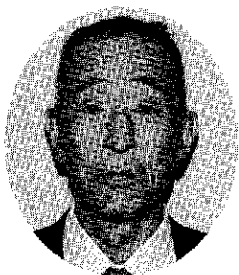
①小林勝国 (49)  
②中仙田  
③中仙田・田戸・越ヶ沢



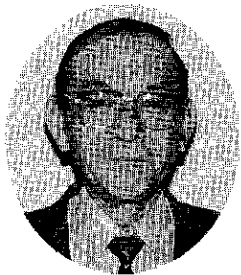
①中村年広 (58)  
②大白倉  
③大白倉・小白倉



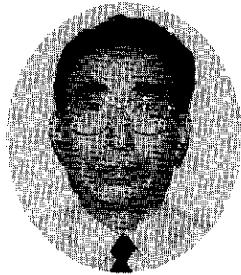
①蔵品信義 (59)  
②霜 条  
③坪山・霜条・鶴吉



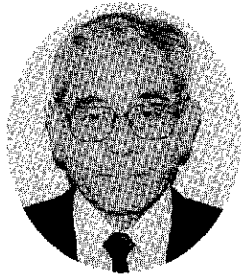
①村山貞治 (65)  
②元 町  
③元 町



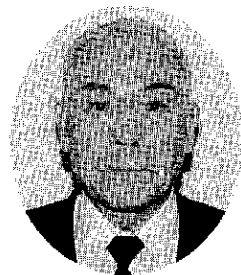
①小林正人 (67)  
②中仙田  
(共済組合推薦)



①南雲 博 (65)  
②田中町  
③水口沢  
(農協推薦)



①上村健一 (63)  
②下平新田  
③三領・小根岸・下平新田  
(議会推薦)



①藤巻 博 (60)  
②寺ヶ崎  
③寺ヶ崎・塩辛  
(議会推薦)

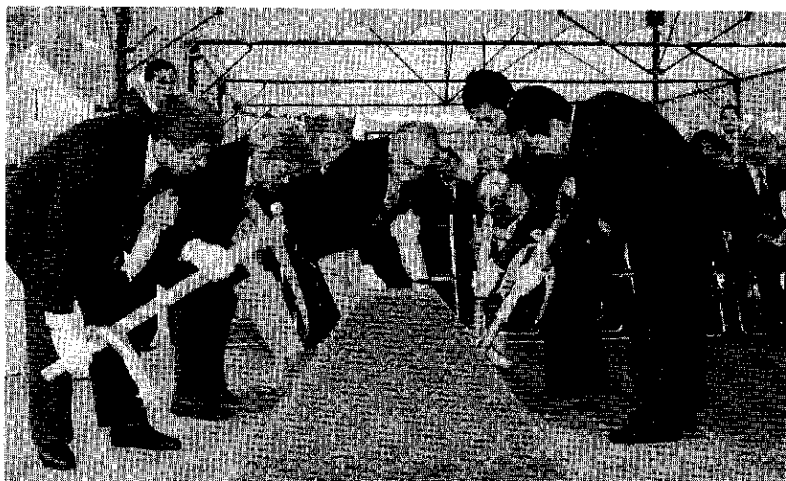
町長選任による委員

七月三十一日、町が計画を進めていた特定環境保全公共下水道事業の建設工事安全祈願祭及び起工式が、水口沢地内で実施されました。式には、工事関係者四十人ほどが参加し、野崎県下水道課長、南雲町長ら五人がクワ入れをして、工事の安全と完工を祈願しました。

この工事は、千手地区一四〇ヘクタールを二つの工区に分け、各工区を三か年で、平成十三年をメドに完了したいとするもの。全体事業費は約六十億円と見込んでおり、今年度の事業費はおよそ八億五千万円。十二箇所で管路布設工事(総延長六、五一七メートル)をするほか、実施測量設計委託(延長二、八〇八メートル)をします。

町の下水道事業は、上野地区(上野・下平新田)が完了。また、五年度には木落・川辺地区(木落・三領・小根岸)及び橘地区(仁田・野口)が完了予定となっています。さらに、千手地区が完了する十三年には、小脇・高倉集落を除く全地域で、下水道を完備させたいということで計画を進めています。

## 特環公共下水道事業 管路施設建設工事起工式 —全体事業費はおよそ60億円—



南雲町長(中央)ら5人がクワ入れをして、工事の安全と完工を祈願しました



# 町の話題あれこれ



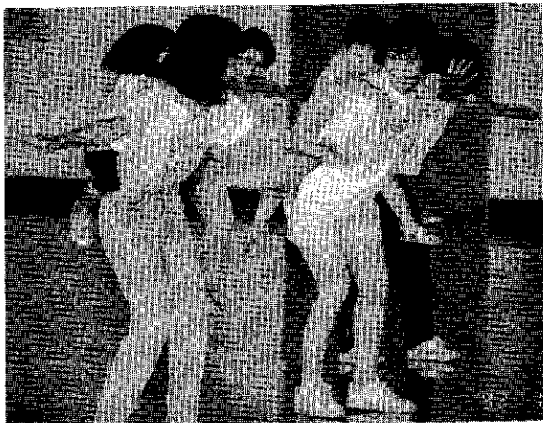
参加者が増えたため、ことしからは川西高校が会場となりました

## ふるさとの味を 楽しく学び伝えよう

七月十一日、川西高校を会場に「ふるさと料理教室」が開かれました。

今回で二回目となるこの教室では、薄らぎゆく季節感、個性を失いゆく味気ない料理に目をつけ、「ふるさとの味や献立を楽しく学び伝えよう」ということで開設され、年間六回が計画されています。

なお、次号からの本紙で、この教室で取り上げられた料理を中心に紹介する、「手軽にできるふるさとの味」コーナーを企画しています。お楽しみにお待ちください。



親子でいろいろなゲームなどを楽しみました

## 親子のスキンシップを図る

子育てについて学んだり、話し合ったりして、仲間づくりや親子のふれあいを深めようと、二・三歳児を持つお母さん方を対象に、子育てセミナーが六月から開催されています。

七月二十五日、総合体育館で、セミナーの第四回目として、楽しい親子の遊びや親子でできる運動を主な内容に、「親子のスキンシップ体操」が実施されました。

当日は、親子二十組が参加。疲れを知らない元気に動きまわる子供たち、それに付いていこうと何とか頑張っているお母さん。子供たちのはしゃぐ声や、お母さんたちの陽気な声で、体育館の中はいつぱいでした。

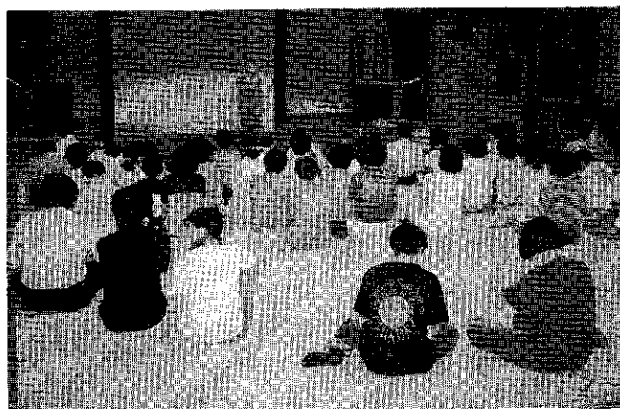
## エイズを正しく 理解するために

「エイズ」は、テレビや新聞などで連日取り上げられ、いま、世界中で急増している病気です。また、県内でも感染者が確認されており、遠い世界の出来事とは言えなくなってきました。

町では、エイズを理解し予防するステップとして、七月九・十日と、町内二会場で映写会を実施。二日間でおおよそ百五十人がこれに参加しました。

今後、さらに増えるであろう感染者、それに対する周囲の対応……、あまりに過激にならないようにすることも大切です。正しい知識を教える機会が、よい必要になってきています。

橘小学校・総合センターを会場に開かれた映写会。おおよそ百五十人が参加



## 善男善女が参拝

## 十七夜まつり

七月十六日・十七日と恒例の十七夜祭りが開かれ、町内外からおおよそ四千五百人が訪れ、にぎわいました。

十七夜まつりでは、千手観音に安置されている千手観世音菩薩像（延暦十七年へ七九八年）坂上田村麻呂が東征の帰路この地に立ち寄って安置したと伝えられている）が開帳され、多数の善男善女が参拝しました。また、おおよそ五十ほどの夜店が並ぶ沿道は、人の波でこたえ返していました。

明治・大正から昭和二十七、八年ごろまでは草競馬で大にぎわいし、今でも夜店で桃やスイカを買ってくるというのが、参拝する人たちの恒例となっているようです。



ことしの十七夜まつりは雨の心配もなく、多くの善男善女が参拝に訪れました

## オリンピック選手が 実技指導と講演

七月二十八日、川西中学校体育館で、「健康づくり講演会」が開催されました。これは、保健施設事業の一環として開いたもので、バルセロナオリンピック（平成4年開催）陸上競技で決勝進出を果たした、高野進さん（東海大学講師・32歳・男子四〇〇メートルに出場）を講師に迎え、「14秒に賭ける」と題した講演をいただいたもの。

高野さんからは、講演に先き立ち、同校グラウンドにおいて、川西中・川西高校・十日町高校の陸上部員八十人ほどを対象に、実技指導をしていただきました。腕の振り、もも上げなど、陸上

競技の基本を指導してもらいました。講演では、「陸上競技に限らず、勝負に結び付く条件としては、適正・環境・目的意識が大きな係りを持っており、適度なプレッシャーも必要である。また、いかに最後の仕上げをコントロールするか、過程にあるストレスにどう反応（怒る・あきらめる・リラックスする・挑戦する）かを理解することが大切。」ということを通して、健康づくりに触れながら、一時間ほど講演いただきました。



講師の高野さん



生徒と一緒に、まずは軽いランニングから

## 第6回 町内学童親善相撲大会結果

7月18日 総合体育館相撲場

### ■団体戦

優勝 橘小学校A

（戸田良樹、野沢慧、星名太一、今井拓朗、藤原弘生、水落信行、木村悟、高橋拓也、原秀和）

2位 上野小学校

（小林達也、押木真澄、渡貫正嗣、若山博彰、丸山一樹、片桐武彦、丸山広哲、仲嶋圭、小林哲也、金子利也）

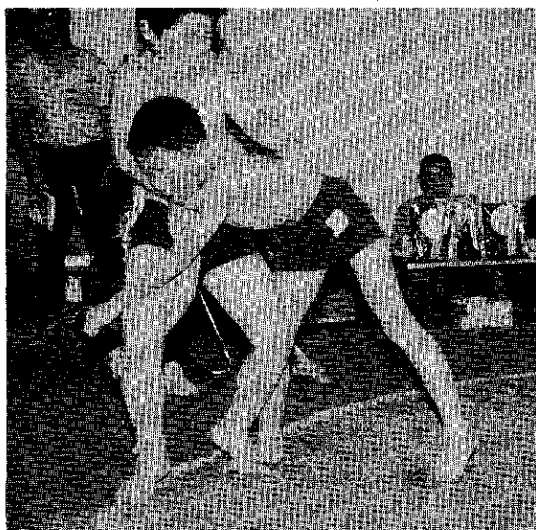
3位 仙田小学校

（金子実寛、増田敬介、庭野哲、樋口和也、高橋渉、丸山良亮、半田太、小林大昌）

### ■個人戦

|    | 4 年       | 5 年       | 6 年       |
|----|-----------|-----------|-----------|
| 優勝 | 金子 実寛（仙田） | 星名 太一（橘）  | 高橋 渉（仙田）  |
| 2位 | 戸田 良樹（橘）  | 大久保英和（橘）  | 藤原 弘生（橘）  |
| 3位 | 星名 悠葵（千手） | 高橋 拓也（橘）  | 片桐 武彦（上野） |
| 4位 | 水落 直人（橘）  | 小林 大昌（仙田） | 西野 健（千手）  |

「のこった、のこった」どちらも必死です。手に汗にぎる熱戦の連続でした



七月十三日、総合センターで、非行少年とその背景を考える「公開ケース研究会」が開かれました。これは、第四十三回社会を明るくする運動の一環として実施されたもので、中魚沼郡・十日町市から、保護司や更生保護婦人会など関係者およそ九十人が参加。「時代を担う少年の健全な育成を図るためにはどうしたらよいか」ということについて、研究資料の事例をもとに、

九班に分かれてグループ討議が行われました。少年非行の原因には、大なり小なり家庭や周囲の環境に問題があります。また、親の威厳欠如にも原因があるようです。そして、少年の健全育成を図るには、家族だけでなく、学校・地域社会のみならず、一人ひとりの理解と協力が必要であるということは、各グループの一致した意見でした。

グループに分かれて討議が行われました



## 少年の非行と その背景を考える

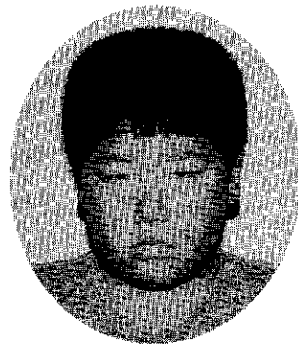
# 県少年空手道選手権大会で 選手が大健闘



写真右から、齋木俊太君（高学年型・組手ベスト16・鈴島小6年）星名佑太君（低学年型・組手ベスト16・千手小3年）齋木猛志君（同第3位・千手小3年）田中諒君（同ベスト8・橋小3年）也君（高学年組手3回戦進出・橋小6年）晃君（高学年型3回戦進出・千手小4年）

七月四日、岩室村民体育館で、第九回新潟県少年空手道選手権が開催され、町空手教室に通う児童の健闘が光りました。

町空手教室は昭和四十六年、川西空手道西空会（西野幸男師範、川崎信夫師範代・学校町・67）が少年の部として結成されたのがきっかけ。現在、教



## わんぱく相撲全国大会で 金子君（仙田小四年）活躍

七月二十五日、両国国技館で、わんぱく相撲第九回全国大会が開かれ、本県からは六チームが出場。その中の十日町チームに、金子実寛君（岩瀬）がいます。

金子君は、五月十六日に実施された十日町ブロックを経て、六月十三日の県大会（4年・6

年各一人・三人編成）に出場、二位の成績を納めました。

全国大会（一五五チーム）では二回戦から出場、富山県の選手に勝って三回戦に。しかし、ここでは健闘むなしく茨城県の選手に惜敗しました。でも、全国大会という大きな舞台で立派な成績を納めてくれました。

金子君は、「とてもドキドキして、緊張しました」と試合の感想を話してくれました。

室には二十三人が通っています。

この大会で低学年型（九六人参加）に出場し、三位入賞を果たした齋木猛志君（千手小三年）は、「今まで頑張ってきたかいがあり良かった。今度は一位を目指して頑張りたい」と、来年に向けて意欲を見せていました。

また、この教室で指導に当たっている中西武博さん（高原山・50）は、「西野師範や川崎師範代のお陰で底辺が広がった。子供たちの成長が楽しみです。五歳の女の子まで通っているんですよ。将来、国体に出られるような選手を育てたい。また、保護者会（田中信夫代表）からも一生懸命頑張ってもらっており、送迎や応援、大会のサポートをしてもらっている。本当にありがたいこと」と話していました。

## ニユースポーツなどを実践



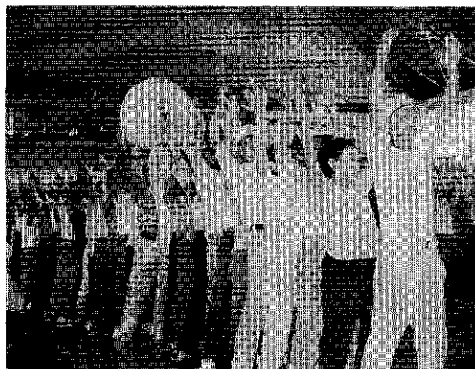
バレエボールのサーブをする要領でインディアカを打ちます

健康づくり・体力づくりに役立てようと、七月十五日から二十一日まで、町内五会場で移動スポーツ教室が実施されました。

十九日は白倉小学校を会場に、およそ三十人が参加。レクリエーションやインディアカなどの指導を受け、一時間半にわたって心地良い汗を流しました。

インディアカはバレエボールのルールを基本に、バドミントンのネットをはさんでインディアカ（バドミントンの羽根を大きくしたようなもの）打ち合うゲーム。

## 暑さも忘れ老人パワー爆発



ボール送りで一位になった仙田チーム

七月二十七日、総合体育館で老人スポーツ大会が開かれ、およそ六〇〇人が参加しました。

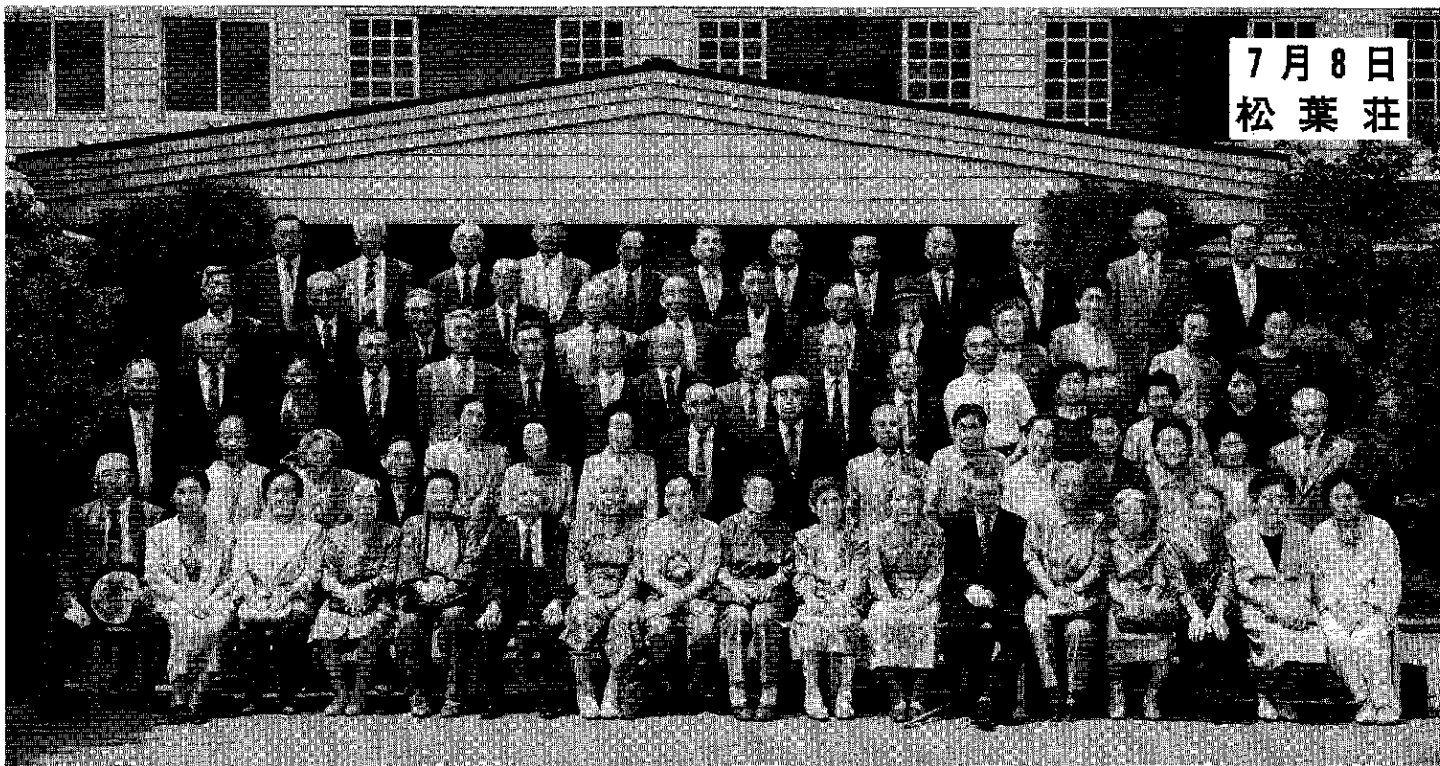
この大会は、総合体育館建設（昭和54年）を契機に地区対抗方式で実施されており、今年で十五回目となります。

当日は、七種目に老人パワーが激突。選手も応援団も各種目で繰り広げられる熱戦に、暑さを忘れてしまったようです。ちなみに、今回は千手地区が優勝の栄誉に輝きました。



ことし喜寿のお祝  
いを迎えた方は、大  
正五年四月二日から、  
大正六年四月一日ま  
でに生まれた満七十  
七歳の九十一人が対  
象です。当日は六十  
七人が出席しました。

7月8日  
松葉莊



千手地区 三十四人

|    |   |   |   |   |   |    |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |
|----|---|---|---|---|---|----|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 高伊 |   |   |   |   |   | 沖木 |   |   | 寺 |   | 中 |   |   | 神 |   | 用 |   | 中 | 上 | 発 |   | 山 |   | 中 |
| 原  | 〃 | 〃 | 〃 | 〃 |   | 〃  | 〃 |   | 〃 | 屋 | 校 | 〃 | 〃 | 社 | 〃 | 〃 | 中 | 〃 | 央 | 電 | 〃 | 電 | 〃 | 島 |
| 田  | 友 |   |   |   |   | 立  | 島 |   | 尾 | 敷 | 町 |   |   | 町 |   | 町 |   | 町 | 町 | 所 | 通 | 野 |   | 町 |
| 小  | 星 | 星 | 星 | 数 | 数 | 相  | 佐 | 福 | 南 | 高 | 清 | 斎 | 丸 | 斎 | 関 | 高 | 野 | 小 | 北 | 酒 | 斎 | 丸 | 丸 | 喜 |
| 林  | 名 | 名 | 名 | 藤 | 藤 | 崎  | 藤 | 崎 | 雲 | 橋 | 水 | 藤 | 山 | 木 | 口 | 橋 | 上 | 林 | 村 | 井 | 木 | 山 | 山 | 多 |
| ト  | メ | タ | カ | タ | キ | キ  | 三 | ス | 栄 | 兵 | ヤ | 喜 | ツ | セ | シ | キ | 菊 | 仁 | 栄 | 幸 | ス | 徳 | 啓 | ミ |
| メ  | ケ | 操 | ク | ツ | ユ | ユ  | 蔵 | ミ | 介 | 治 | ス | 一 | ル | キ | イ | エ | 三 | 作 | 平 | ギ | 策 | 作 | 進 | 木 |

//

上野地区 二十一人

[illegible]

橘地区 十八人

木  
〃 〃 〃  
落  
相馬 カク  
相馬伊勢吉  
丸山孫太郎  
丸山鉄四郎

|    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |     |    |   |    |    |    |    |    |     |    |   |
|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|-----|----|---|----|----|----|----|----|-----|----|---|
| 小  | 大  | 大  | 岩  |    | 赤  | 小  |    | 室  |    | 中  |     | 仙  |   | 下  | 原  |    | 野  |    | 仁   | 塩  | 寺 |
| 白  | 〃  | 白  | 〃  | 〃  | 〃  | 〃  | 〃  | 〃  | 〃  | 〃  | 〃   | 仙  | 〃 | 〃  | 〃  | 〃  | 〃  | 〃  | 〃   | 〃  | 〃 |
| 倉  | 倉  | 倉  | 瀬  |    |    | 脇  |    | 島  |    | 田  |     | 田  |   | 田  |    | 口  |    | 田  | 辛   | 崎  |   |
| 片桐 | 桐生 | 中条 | 金子 | 小川 | 登坂 | 高橋 | 佐藤 | 茂野 | 茂野 | 小林 | 高橋  | 小林 |   | 丸山 | 星野 | 野沢 | 山口 | 須藤 | 藤巻  | 山崎 |   |
| 栄二 | 美一 | 麻治 | 勝司 | キミ | ハナ | 重英 | トク | チヨ | トワ | マチ | スイ子 | ノイ |   | ギク | 浅由 | 静江 | 英  | 亮助 | タツノ | マサ |   |
|    |    |    |    | ミイ | 清  |    | ハル |    |    |    |     |    |   | 義長 |    |    |    |    |     |    |   |

仙田地区 十八人

仙田地区 十八人

# 仙田村の学校問題 ⑬

岩瀬 金子 幸 作

## 命を狙われた村長

青山学院大学高等部の登坂幸雄氏（九十二村長の三男）が、父から聞いていた村長時代の秘話を電話で教えてくださった。

学校問題でもめたときは、年中だれかに命を狙われていた。月夜の晩に童子ヶ島へさしかかったら、草葉の陰にフウコウ（頬被り）したトツツアたちが隠れていて刀や包丁をチラツカせるのが見えた。知らん顔して通ると、「統合案を撤回しないと川へ突き落とすぞ」と罵声を浴びせられ、以後の夜歩きには護身用に短刀を携帯した。

## 親類で夜を明かす

反対派の日が光っていて、晩方は役場から家へ直行できなかつた。田戸も人心が不安で通れず、越ヶ沢の峠を登って元町へ降り、徳左エ門で夕飯を食べてまた仙田峠を赤谷へ帰ったが、暗闇の中に人の気配がして家へ入れず、新左エ門や茶屋で夜を明かしたことも幾度かある。翌朝は洪海川を渡って蟹山の古道

を越え、猿ヶ鼻のへつりを仙田川東へ出て役場に入った。

室島・中仙田・赤岩の三校統合を、良識のある人たちはみんな賛成してくれた。それが実現できないでしまったのは、小異を捨てて大同につけなかった少数の反対者が、貧しい村民を上手に利用したからであった。

※金子「幸作」の名親は祖母の弟に当たる九十二村長で、「幸せを作れ」と願って名付けてくれたのだそうである（私ごとで恐縮、お許しのほどを）。

## 職務管掌と村長代理

登坂九十二が村長を辞職したあと、村会の後任を物色するがだれも引き受けなかった。事態を重く見た県は、昭和元年十二月二十九日に新潟県属小杉藤太郎（新潟市西港町）を仙田村長職務管掌に任命して収拾をはかる。しかし、県が派遣したやりの役人といっても、まだ二十五才の小杉が海千山千の村会議員衆を説得することはむずかしく、また、この人が村内の雪道を歩き回るのも至難で解決を期

待できず、就任わずか十六日で村長の座を追われてしまう。

小杉の去ったあと、小林銀次郎（西蒲原郡吉田町太田）が村長臨時代理者に任命され、昭和二年一月十三日から三年三月二十九日までの一年二カ月を在職する。小林は四十一才の働き盛りで「切れ者」の異名があたえられた敏腕家であったが、問題の解決を急ぐ高姿勢が議員衆の反発を買い、まとめる立場の発言がかえって火に油を注ぐ結果になったりして村政は混迷の色を濃くしていく。

## コヌギとコバギン

室島の高橋惣治翁と中仙田の小林政夫氏は次のように語る。

小杉藤太郎は旦那様のボンボンっぽいところがあり、なにことも大様で紳士的な人だった。中仙田の「よや」に下宿しており、オラが陳情に行くと親切に應對し、親身になって願いを聞いてくれた。学校問題を解決したいと意欲的に着任したのに、議員衆の苛めに負けて自分から逃げたとしかしいようがない。

小林銀次郎はきつくて役人様という印象が強く、とかく斜に構えて小杉とは対照的な人物であった。中仙田川東の高野武夫や川西の南雲正弘が役場に勤め

ていたころ小林に鍛えられたといい、村民の一部もこの人に恐れをなしたとかで今も「コバギン」の異名が残っている。

## 涌井せり先生の手紙

東松山市の涌井せり（元橘小学校女教師、中仙田出身）先生から、当時をしのぶ貴重なお手紙をいただいた。

突然お手紙を差し上げる失礼をお許しくださいませ。広報かわにしの歴史は語るを毎号興味深く読ませていただいております。とくに「仙田村の学校問題」は、私は、当時仙田村助役を勤めた南雲保治の長女で大正二年生まれですので、学校問題が一番めめたきなかに中仙田校の高等科へ在学していました。

一年生入学（大正十五年度）の年は仙田村から生徒が集まって教室に入り切れないほど大勢でしたが、二年生の時は中仙田と越ヶ沢、それに白倉・藤沢の子が一人来たくらいでわずか九人でした。そのころ、高等科の併置問題で村がもめて村長になり手がなく、新潟から輸入村長が派遣されて来ました。名前は忘れましたが、その村長さんの歓迎会を私の実家で催したのです。本家の通子さん（後の山口県・葉田医院長夫人）も手



中仙田校庭の桜（中仙田 小林政夫さん提供）

伝いに来てくださって、私と二人でドキドキしながら給仕したのを覚えています。県の偉い役人様とかで、とにかく接待するのに大変な騒ぎでした。

その後、成人して橘小学校へ赴任したのは昭和十年ごろで、当時としては画期的な念願の橘診療所ができたのでした。仙道先生・戸田貞次さんと娘の千代さん、野沢秀保さんもよく存じ上げていましたので「橘医療利用組合」の記事も毎号なつかしく読ませていただきました。戸田千代さんと南雲通子さんと私は従姉妹で、小さい時から仲良く育ちました。そのため昔がなつかしくて、矢も楯もたまらず筆を執りました。これからも、私どもの知らない郷土の歴史を書いてくださいませ。

# 新焼却場の 火入れ式



南雲町長（右から2番目）らが、運転スイッチを押しました

七月二十七日、十日町市川西町衛生施設組合が計画を進めていた、新しいごみ焼却場（十日町市下島地内）の火入れ式が実施されました。式には、組合関係者や組合議会議員、日本鋼管（株）の田治見常務など、工事関係者五十人ほどが参加し、丸山十日町市長、南雲川西町長ら五人が運転スイッチを押して、焼却炉に火入れをしました。

新焼却場は、総事業費二千七億三千万円で、平成三年十二月四日着工、三カ年の継続事業。九月いっぱいまで各部門の機械調整や、実際ごみを入れた調整運転などを行い、十月から本格稼働をする予定になっています。施設は、鉄筋コンクリート・鉄骨ALC構造で、高さ五十九メートルの煙突を備えています。一日十六時間運転できる準連続焼却炉二基は、九十センチ（平成十一年を計画したもの、従来は五十五センチ）を処理することができます。また、機能集じん方式、有害ガス除去装置、クロージシステムなどの最新の公害防止装置を備えています。さらに、機械化、自動化を図り、コンピュータを利用して集中管理方式を取り入れています。

## 特別養護老人ホームの 名称募集

現在、高原田地内、高齢者福祉事業の中核となる特別養護老人ホームの建設が、来年二月中旬の完成を目指して進められています。

この特別養護老人ホームの名称を次の要領で募集します。町内・外を問いませんので、ふるって応募ください。施設にふさわしい親しみのある、暖か味のある名称をお待ちしています。

### ■応募方法■

はがき一枚に一点の作品とします。住所、氏名、年齢、電話

番号を明記し、川西町役場内（社）あかね会特別養護老人ホーム設立準備室までお送りください。

### ■締め切り■

8月24日（当日消印有効）

### ■賞品■

採用一点。佳作若干。

### ■発表■

本紙に発表。本人にも通知します。

※特別養護老人ホームの内容六十五歳以上の方で、身体上若しくは精神上著しい障害があるため常時の介護を必要とし、

居室において介護困難な場合に人所させ、身の回りの世話や入所者に再起の希望と快適でやさらかな生活の場を与えて、老人福祉の増進を図ることを目的とする施設です。

また、この施設は老人ホームヘルプサービス事業、老人短期入所運営事業、在宅介護支援センター運営事業も併せて実施する予定で、定員三十人の施設として、来年四月の開所を予定しています。

### ※建物の概要

構造 鉄筋コンクリート造

二階建て

床面積 二、二八七・〇九平

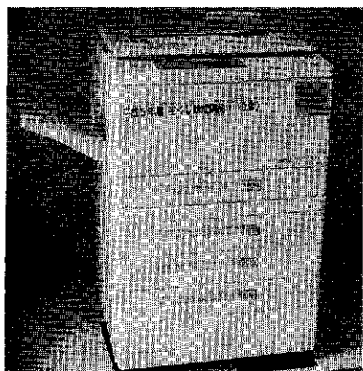
方メートル

## 収益金の環元を受ける

## 平成5年度宝くじ助成備品

仙田地区開発振興協議会では、仙田地区のコミュニティ活動を振興し、明るいまちづくりをするため、財自治総合センターから宝くじの収益金二五〇万円の助成を受け、次のような備品を整備しました。

テント、放送機器、音響設備、ビデオ、複写機、ワープロ、屋外簡易トイレ、掲示板



小白倉集落に備えられた複写機



協議会本部に備えられたテント



# 図書室 だより

一年生の親子にすすめる本

一年生の生活は、日々新たな体験と新鮮な驚きで彩られています。そんな一年生を扱った本を図書室から選んでみました。

「もう字が読めるんだから、自分で読みなさい」などと言わなければなりません。読み聞かせは楽しみは倍加します。大人もいっしょになって、のんびりと豊かな子どもの本の世界にひたってみてください。

○一年生っていいね 宮川ひろ  
○びゅんびゅんごまがまわったら 同右

○ぼく一年生だ い 遠藤みえ子  
○さっちゃんまほうのて 共同制作  
○ねんくみーばんワル 後藤竜二

○がまんがまんどうんちっち 梅田俊作

○おかあさんといっしょ 同右

○よいいどんけついつつどうしよう 同右

○こんにやろノとうちゃん同右

○いもうとのにゅういん 同右

○はじめてのキャンプ 林明子

○ふとんかいすいよく山下明生

○じてんしゃにのれたよ 国松俊英

○サンタクロースってほんとにいるの てるおかいつこ

○一年一組せんせいあかね 鹿島和夫・灰谷健次郎

## 善意

(敬称略)

老人福祉に  
星名徳平(沖立) 3万円  
一般寄附  
石沢邦治(上町) 5万円

## 停電のお知らせ

9月2日 午前9時半～正午  
(木) 高原田の一部  
霜条の一部

9月10日 午前9時半～11時半  
(金) 室島の一部



## かわい 俳壇 太田白南風選

夏菊を涼しく活けて事務開き  
岩瀬 登坂伊智子  
水蓮の花に小雨の三溪園  
綾瀬市 野沢ますえ  
上台石しめりて梅雨のつづき居り  
小白倉 江口みゆき  
暑き日に暑き茶す、る昼寝起  
足立区 駒形 頼太  
終バスの過ぎたる間にほたる飛ぶ  
小白倉 田中 優美  
灯して子供相撲や地蔵盆  
足立区 涌井ハル子  
谷青葉滝を塞ぎて揺れ止まず  
高倉 斎木 和人  
土用入り大暑とあれど夏遠し  
木落 丸山 詩朗  
梅雨空に給油の店の灯の早き  
山野田 藤田ひろ志  
梅雨空の雲の隙間の薄日さす  
上野 星名 春子  
俵ぐみ赤く熟みたり口にせり  
新町 若山 向山

苗木市野良着のままに來ていたり  
元町 金子 鉄平  
野いちごの実のつややかに色づけり  
仁田 小幡しん女  
梅雨の降り信濃の山を霞めけり  
野口 村越 幸  
さくらんぼ芭蕉の句碑は山寺に  
厚木市 川崎 保一  
土用風青田波打ちゆるかな  
仁田 戸田 貞  
土手に咲く昼顔のあり瀬の早し  
寺尾 白井すみい  
瀬音聞き沢蟹捕りし遠き日よ  
野口 野沢 静江  
かつこうの鳴く故郷の昼寝かな  
練馬区 須藤 遊人  
梅雨空の毎日続く土用入り  
野口 五十嵐トラ  
大輪の咲き揃ひたる菖蒲園  
伊勢原市 金子 桂吉  
遠き日の赤のまんまよおまごこと  
野口 村越 由喜  
木漏れ日も青葉影揺れ登り坂  
志木市 山田十久二  
涼しきよ青柴神社の石の道  
中仙田 高野仙蒼子  
夕映の静かな庭の月見草  
大倉 中条 石平

退院の迎への妻の夏羽織  
水口沢 高橋 願似  
紫陽花や白より咲きて色変わり  
元町 上村 トミ  
垂れ萩の優しく咲いて盆來る  
八王子市 松浦 サク  
車窓より青田広がる越の国  
浦和市 登坂 博史  
朝早くみんなみんぜみに目をさまし  
野口 村越 春野  
浴帰り目にさきり来る西日かな  
千手 長野 キミ  
夏帽子頭上に振って別れけり  
下平新田 清水きよし  
あじさいの色のあせゆく大西日  
上野 入沢 はや  
夏帽子ぬいで一と風入れにけり  
上野 内山 寛平  
水打って大地に生命ある如く  
霜条 大海 白涛  
梅雨の中人の目光るせんきよかな  
仙田小三年 高橋 隼



## 「町営住宅の適正管理を」 — 投書についてのお答え —

先日、住民の方から町営住宅所管課長あてに投書がありました。「賃貸住宅を探しているが適当な住宅がない。しかし、町営住宅には、不正入居と思われる

ような入居者がいる。適正な管理を望む」こんな内容でした。町には現在、町民の入居を対象にした11戸の町営住宅(教員住宅を除く)があります。住宅はほとんど空くことがなく、入居希望者には入居をお断りしたり、空き家になるまで待っても

らったりしているのが実態です。また、入居者の決定やその後の運営は、公営住宅法や町営住宅条例に照らし適正に運営されていますので、投書にあるような不正な入居はありません。  
\* 町営住宅についてのお尋ねは、役場建設課都市計画係へ。

# 特別養護老人ホーム職員募集

あかね会では、平成六年四月一日採用の特別養護老人ホーム（高原田地区）に勤務する生活指導員一人と、寮父母・介助員十人程度、看護婦若干人を次の要領で募集します。

上とします。

## 【採用日】

平成六年四月一日（ただし、3月1日から事前研修などに参加できること）

## 【試験の日時と場所など】

日時 9月19日（日）午前9時  
場所 川西町総合センター  
内容 一般教養試験、作文試験、面接をします。

## 【申し込み受付場所】

川西町役場内特別養護老人ホーム設立準備室

へお問い合わせください。

## 【受付期間】

8月10日～9月9日まで（郵送の場合も9月9日必着）

## 【提出書類】

市販の履歴書に自筆記入し、写真を貼付してください。

## 【その他】

試験当日は、鉛筆、消しゴムを持参のこと。

詳細については、川西町役場内特別養護老人ホーム設立準備室（☎六八一三二二）へお問い合わせください。

## 皇居の勤労奉仕を終えて

新町新田 鈴木 義一

第二十回十日町地区皇居勤労奉仕団は、去る六月二十五日に、四日間のご奉仕が終わりました。私は、七十五人の団長として、町から参加の二十三人の方々と参加してまいりました。

本年は皇太子殿下ご成婚の直後であり、東宮御所の中庭で、四県二六人の奉仕団が整列して、皇太子殿下・雅子妃殿下の

ご会釈をお受けし、両殿下の万歳三唱の先達を努めさせていただきました。

同日、赤坂御所「日月の間」において、天皇・皇后両陛下と紀宮様のご会釈をいただきました。また、皇后様から初めてお言葉をお授けしました。

今後、伝統ある十日町地区奉仕団の偉業を継承してまいりたいと思っておりますので、関係各位のご協力をお願いします。

## お気軽にご利用ください

## 町の在宅福祉サービス

高齢者の多くは、身体が不自由になっても住み慣れた家庭や地域で住み続けることを望んでいます。このような高齢者の在宅生活の維持向上を支援するため、町ではいろいろな在宅福祉対策を進めています。お気軽にご利用ください。

老人ホームヘルプサービス  
心身の障害や傷病のために日常生活に支障がある、おむね六十五歳以上の方がいる家庭にホームヘルパーを派遣し、介護サービスを行い、その高齢者が健全で安らかな在宅生活を送ることができるよう援助することにも、家庭の介護負担の軽減を図ります。

在宅介護支援センター運営事業  
在宅の寝たきり老人の介護者などに対し、在宅介護に関する総合的な相談に応じ、各種の保健・福祉サービスが受けられるように、町関係機関・サービス実施機関などとの連携調整を行い、地域の要介護老人及びその家族の福祉の向上を図ります。

シヨートステイ事業  
介護者に代わって寝たきり老人などを一時的に保護する必要がある場合に、短期間老人ホームに保護することにより、介護

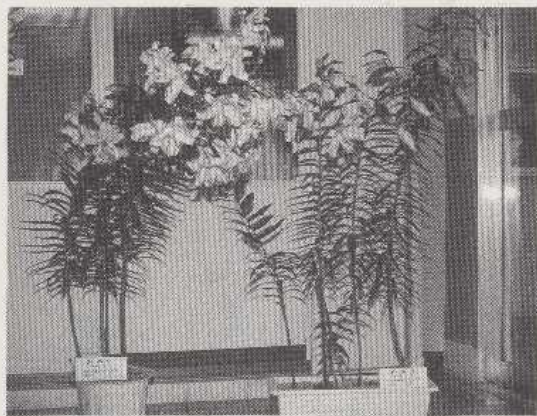
このほか、寝たきり老人などの日常生活用具（特殊寝台など）の給付（貸与）や、寝たきり老人のおむつの給付（貸与）事業も行っています。

詳細については、住民課高齢福祉係にお問い合わせください。



ホームヘルパーによる介護サービス





役場正面玄関に置かれた鉢

# 今が見ごろ！ぜびご観賞を

球根齡19年の町の花・山ユリ

役場正面玄関を入ると、何と

もいえないいい香りがあたりに漂い、また、思わず「わーきれー」と訪れた人の心をなごませてくれています。さてこの正体はと見てみると、なんと球根齡十九年という町の花山ユリです。この山ユリは、水品正幸さん（新町新田）が丹精して栽培をしたもので、二鉢（七株）を役場に「観賞に」ということでお持ちくださったもの。今が見ごろです。役場にご用の際は、ぜひご覧になってみてください。

## 戸籍の窓から

うぶ声—おすこやかに

高橋健一朗 フジエ 弘 長男 坪山

谷井 大河 浩也 長男 木島

片桐 美咲 義仁 二女 山野田

野上千香子 千代子 三女 栄町

清水七夕美 久信 二女 高原田

清水和佳子 裕 悟 長女 寺尾

中條 美月 武 長女 室島

高橋 公子 昇 二女 三領

小海 葉月 純子 二女 小根岸

数藤 航勝 夫 二男 沖立

昇天—ごめい福を祈る

江口 真 49 (本人) 小白倉

須藤 二子 57 (誠一) 下原

今井 フサ 75 (徳太郎) 上野

小林 ミヨ 83 (貞雄) 元町

(7月1日~31日届け出分)



3年 星 拓也 君



1年 阿部達也 君



5年 高橋知佳子 さん

## ちいさな展覧会

61

千手小学校



2年 高橋ひとみ さん

(9月号は上野小学校です)



4年 佐藤 渚 さん

6年 半藤賢一 君